

身近にある木質材料



私たちの住まいの中に、木質材料は幅広く利用されています。身近にあるいろいろな木質材料の紹介とシックハウス対策などについてお話しします。

身近にある木質材料

木質材料は、木材を小片化して、接着剤を添加し、成型（圧縮）することで製造された材料で、建築物や住宅、家具など、私たちの身近なものに幅広く使われています。木質材料の主原料は、板状・チップ状・繊維状などの多様なサイズ・形状の木材小片です。木材小片には必ずしも大きな木材が必要ではないため、小径木や低質材、建築解体材や廃材を活用できることから、木質材料は木材の有効利用の点で重要な役割を果たしています。加えて木質材料には、節などの欠点の除去、異方性（材料の方向による性能の違い）の解消、長い・広い材料が製造可能、などの特長があります。

代表的な木質材料を以下に示します。実際には、表面に化粧材料を貼るなどして使用されることも多いですが、その特徴的な外観を生活の中の様々なところで目にすることが出来るでしょう。



集成材
しゅうせいざい



単板積層材（LVL）
たんぱんせきそうざい



合板
ごうはん



配向性ストランドボード
OSB



パーティクルボード



ミディアム・デンシティ・
ファイバーボード（MDF）

また近年、住宅の室内環境に起因する体調不良、いわゆるシックハウス症候群が問題となっています。厚生労働省の室内濃度指針値の対象となっている化学物質について、木質材料は低減化・未使用化の対策を取っており、室内空気質の改善に貢献しています。化学物質の放散に関する表示がある住宅用建材も増えており、それらの表示は建材を選ぶときの判断材料の一つとして有用です。